

みえ森と緑の県民税基金事業の評価方法

10名の委員を3班に分け、班ごとに分担した事業について、別紙に基づき「事業内容」(32点)「情報発信」(8点)の2項目を評価。評価後、各委員の評価点を項目ごとに平均(小数第一位四捨五入)し、2項目の合計を以下により「A」～「E」で評価。

なお、「①基金積立金事業(事業総括)」は全事業の平均、「⑨-イ市町交付金(基本枠)事業」は基本枠全事業の平均で評価。

評価点 合計	評価	
$34.0 \leq X \leq 40.0$	取組が特に優れている	A
$28.0 \leq X < 34.0$	取組が優れている	B
$22.0 \leq X < 28.0$	取組が妥当である	C
$16.0 \leq X < 22.0$	取組は妥当であるが さらに工夫が必要である	D
$10.0 \leq X < 16.0$	現状の取組に改善が必要である	E

事業総括・県営事業・市町交付金(連携枠)事業 ※事業別

事業名		評価点			評価
		事業内容(32)	情報発信(8)	合計(40)	
①	みえ森と緑の県民税基金積立金事業(事業総括)				
②-ア	災害緩衝林整備事業				
②-イ	土砂・流木緊急除去事業				
③	災害に強い森林再生事業				
④	森林情報基盤整備事業				
⑤-ア	みえ森林教育ビジョン推進事業				
⑤-イ	みえ森づくりサポートセンター運営事業				
⑤-ウ	みえ森林教育ステーション運営・整備事業				
⑥	みんなで取り組む三重の森づくり推進事業				
⑦	生物多様性推進事業				
⑧	森林とふれあう自然公園環境整備事業				
⑨-ア-a	流域防災機能強化対策事業				
⑨-ア-b	災害からライフラインを守る事前伐採事業				
⑨-ア-c	県民参加の植樹祭事業				
⑨-イ	みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠)事業				
⑩	みえ森と緑の県民税制度運営事業				

市町交付金(基本枠)事業 ※市町別

事業名		評価点			評価
		事業内容(32)	情報発信(8)	合計(40)	
1	〇〇〇事業				
2	〇〇〇事業				

〇〇〇事業

市町名：

〇〇市

項目	視点	説明	配点	評価の基準				備考
				4 (8)	3 (6)	2 (4)	1 (2)	
事業内容	有効 公益性 (×2)	目的が達成され、 県民に有益な事業 であるか。	8	目的が達成され、 特に県民に 有益な事業である。	目的が達成され、 県民に有益 な事業である。	目的が達成され ているが、有益 性が低い事業で ある。	目的の達成度が 低い事業である。	※評価のポイント ○「2つの基本方針」の推進に有効 であるか。 ○山地災害の未然防止や整備した施 設の利活用など県民に有益な取組で あるか。
	公益 性 (×2)	県民に幅広く受益 のある事業である か。	8	直接的な事業効果 に加え、波及 効果が特に大き く、不特定多数 の県民に幅広く 受益のある事業 である。	直接的な事業効果 に加え、波及 効果が大きく、 多数の県民に受 益のある事業で ある。	直接的な事業効果 や波及効果が 小さく、少数の 県民に受益のある 事業である。	ごく一部の県民 に受益のある事 業である。	※評価のポイント ○事業で実施する森林整備、危険木 伐採、森林教育活動、木製品の導 入、イベント開催、施設整備など は、県民に幅広く受益があるか。
	持 続 性 (×2)	持続的・長期的視 点に立った取組が 行われているか。	8	複数の効果的な 取組が行われて いる。	効果的な取組が 行われている。	取組が行われて いるが、さらに 工夫が必要であ る。	特に取組が行わ れていない。	【例】 持続的な森林づくり、危険木伐採時 における施業の工夫、里山整備計画 の策定、転用や目的外使用の規制、 森林教育指導者の育成、学校等にお ける森林教育活動、幼稚園等への木 製玩具の導入 など
	妥 当 性 (×2)	事業効果の発現に 向けて、地域の実 情や状況変化に応 じた取組が行われ ているか。	8	複数の効果的な 取組が行われて いる。	効果的な取組が 行われている。	取組が行われて いるが、さらに 工夫が必要であ る。	特に取組が行わ れていない。	【例】 さまざまな主体との連携・協働、ア ンケートによるニーズの把握やPDCA サイクルによる事業のブラッシュ アップ など
	計			32 / 32				

項目	視点	説明	配点	評価の基準				備考
				4	3	2	1	
情報発信	発 信 方 法	効果的な方法で積 極的な発信が行わ れているか。	4	複数の効果的な 方法で積極的な 発信が行われて いる。	効果的な方法で 積極的な発信が 行われている。	発信が行われて いるが、さらに 工夫が必要であ る。 ※山中におけるのほ りの掲示、ポス ター・ロゴマークの 掲示など	特に発信が行わ れていない。	【例】 インターネット、SNS、広報誌、 テレビ、ラジオ、学校だより、オリ ジナルチラシの作成・配布、イベ ントにおける発信、ドローンの活用 など
	発 信 内 容	効果的な内容の発 信が行われている か。	4	県民税の活用や 事業実績等に加 え、森林への理 解醸成に向けた 内容等について 丁寧で分かりや すい発信が行わ れている。	県民税の活用や 事業実績等につ いて発信が行わ れている。	県民税の活用等 について発信が 行われている が、さらに工夫 が必要である。	特に発信が行わ れていない。	【例】 「事業の実績」「事業と2つの基本 方針との関係」「多面的機能を発揮 する森林の重要性」「森林資源の循 環利用」「木材利用の意義」の県民 への発信 など
	計			8 / 8				

評価点 合計	40 / 40	評価 (A~E)	A
--------	---------	----------	---

事業への提言	
--------	--